

通巻第62号

平成29年8月

佐倉市V連協だより

【発行】
佐倉市ボランティア連絡協議会
【連絡先】
佐倉市ボランティアセンター内
TEL:043-484-6198
<http://www.sakuravren.com/>
E-mail info@sakuravren.com



人と地域をつなぐボランティア

佐倉市ボランティア連絡協議会
新会長 稲村 多恵子



平成29年度役員紹介

会 長	稲村多恵子
副 会 長	田 仲 知 代
副 会 長	瀬 尾 潔
事 務 局 長	
書 記	石 田 文 代 小 倉 幸 代
会 計	小 出 ま ゆ み
幹 事	豊 田 理 英 子 長 谷 久 美 子 秋 田 美 智 子 住 吉 ア キ 子
監 事	露 寄 義 夫 大 久 保 和 夫
顧 問	鳥 海 孝 範

日頃より佐倉市ボランティア連絡協議会にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。平成29年度、新役員体制とともに新たな仲間を迎えスタートいたしました。前年度の「ボランティアのつどい」を通して、会員と各地域で活動されている皆さんとの交流もできました。今日ではボランティアを求められる場が多様化し活動の機会が増えているなかで、地域と連携することもあるかと思えます。今年度も会員同士の交流や共有する機会を持ち、皆さまからのご意見を伺いながら活動の充実に努めてまいります。

V連はボランティア仲間との出会いを大切に、「楽しく、無理せず、自分らしく」引き続きV連の事業にご参加いただき、活動充実のために、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

個人ボランティアのつどい

日 時：10月22日（日）午後1時30分～
場 所：千代田染井野ふれあいセンター
内 容：エニアグラム入門体験

エニアグラムは、性格タイプの違いから生じる感じ方・考え方・行動の違いを理論的に説明します。自分の個性を活かしながら相手の個性を認める関わり方や声かけのヒント満載です。



ひっぱりだこ

新規加入紹介

（敬称略）

グループ：鼓 珀(こはく)
個人：石渡典子、小林美子、寺田純子、廣田昌子

第2回運営委員会のお知らせ

日 時：12月10日(日)
午後1時30分～
場 所：西部地域福祉センター
内 容：1部：4月～11月のV連活動報告
2部：検討中



平成29年度「つどい」実行委員紹介

- ・ボランティアグループ「ラ・ポール」
- ・鼓 珀(こはく)
- ・伊藤千津子(個人ボランティア)
- ・犬塚明子(個人ボランティア) (敬称略)

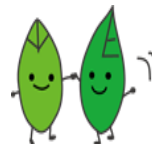


第36回ボランティアのつどい

平成30年2月11日(日・祝)
志津コミュニティセンターにて開催!

平成29年度「はらっぱ」編集委員紹介

- ・印旛沼ネットワークの会
- ・ボーイスカウト佐倉第4団
- ・使用済み切手収集の会
- ・柏崎道子(個人ボランティア) (敬称略)



※取材に行ってきました！編集委員の皆さん、それぞれの場所で生き活きと活動していました。頑張ろうというエネルギーをいっぱいもらってきました。
※平成30年2月発行予定です！ご期待ください。

第1回運営委員会(総会)報告

4月23日(日) ミレニアムセンター 出席者:45名



1部 協議事項

- ・平成28年度活動報告・決算報告・会計監査報告
 - ・佐倉市ボランティア連絡協議会会則の改定(案)
 - ・平成29年度活動計画(案)・予算(案)
 - ・使用済み切手収集の会計報告
- ※協議事項すべて承認されました。

<質疑応答&意見>

- ・決算書の表示方法について
- ・運営委員会の回数が変更になることについて
- ・切手収集方法について 他



2部「子ども食堂ができるまでとこれから」

～今、求められているボランティア活動～

NPO法人ほっとすペース・つき

坂根 亜衣 様



「ここに来れば話せる人がいる」をコンセプトに支援を必要としている人への居場所づくりや地域力の向上、子ども食堂や学習支援などに取り組んでいるNPO法人ほっとすペース・つき。

子ども食堂立ち上げの経緯は、「6人に1人の子どもが貧困という現実」と「誰かとたわいもない話をしながら、ご飯を一緒に食べることが大切」という思いです。

孤食の子どもや困窮世帯の子どもに楽しくコミュニケーションをとりながら食事をする場を提供するため、2016年4月に子ども食堂をスタート。ここに来ることにより、受け止めてもらえる(話を聞いてもらえる)、素敵な大人との出会い、そして食事の楽しさなどを知る機会となります。

「こども食堂つき」には、自己肯定感が低い子ども、家や学校に居場所がない子ども、虐待の疑いがある子どもも来ます。紹介されて来る子どもが多いのですが、飛び込みで来てくれる子どもが増えることも期待しています。

そして子ども食堂を継続していくうえで大切なことは、週替わりで美味しい食事を作ってくれる無償ボランティアの方に、無理なく続けてもらえるようにすることです。

子どもだけでなく、全世代が生き生きとするため、みんなで話しながらの食事は大事だとあらためて感じています。



バス研修会報告

平成29年7月7日(金) 参加者47名

「成田学園」・「房総のむら」に行ってきました!

児童養護施設「成田学園」を見学し、虐待相談の内容別件数の推移など現状(心理的虐待が多い)を伺ってきました。お昼は成田ビューホテルにて、成田空港や緑豊かな景観を楽しみながらのランチ。

午後「房総のむら」では、江戸時代にタイムスリップし、ボランティアガイドによる説明を聞いたり、千代紙ろうそくを体験したり、アイスを食べたり、のんびりとした時間を楽しむことができました。



毎月11日に幸せの黄色い(イエロー)レシートキャンペーン(イオン主催)で、平成28年度は9,900円のお買い物券をいただき、コピー用紙など文具を購入しました。

今回をもちまして「佐倉市ボランティア連絡協議会」は登録を終了しました。長い間ご協力いただきありがとうございました。